愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実習指導ⅠA		
担当者(Instructors)	堀 建治,松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本授業は、前期に引き続き、実習に必要な基礎的事項や準備、保育者としての基本的な能力を養うことを目的とする。専門的知識と実践力をもって保育実習ⅠAに臨むことができるよう、保育実習の意義や目的、子どもへの理解、保育者のあり方や保育所の理解、指導計画等について理解する。なお、本授業は学部が定める保育実習履修条件に従うものとし、前期開講の「保育実習事前指導ⅠA」単位未修得者は履修できない。また本授業では３回以上欠席した場合、単位修得が認められないので注意すること。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	講義、実技、ディスカッションやグループワークを導入する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	授業の方針を含めて、実習に向けての総合的なガイダンスをする。	□
第2回	実習に向けての手続きと準備①（各種書類作成）	事前訪問の目的を学び、事前準備の重要性を理解する。	□
第3回	実習に向けての手続きと準備②（事前訪問）	事前訪問時に持参する必要な書類作成等を含めて、実習に向けての準備をする。	□
第4回	実習に向けての事前学習①（実習課題について）	実習に向けての課題と抱負を作成する。	□
第5回	実習にむけての事前学習②（実習記録について）	実習記録の記載方法の確認をする。	□
第6回	実習にむけての事前学習③（指導計画案について）	責任実習に向けて指導計画の作成方法を確認する。	□
第7回	実習にむけての事前学習④（お礼状の書き方）	実習後、実習園へ送付するお礼状の書き方について理解する。	□
第8回	実習直前指導	実習前にあたって、持ち物や心構えを含めて最終確認をする。	□
第9回	事後指導①（実習報告書の作成）	実習報告書を作成する。	□
第10回	事後指導②（実習の振り返りと自己評価）	自身の実習への取り組みについて、所定の自己評価基準に基づき、振り返りしつつ評価をする。	□
第11回	事後指導③（実習を踏まえての保育教材の作成）	実習成果を踏まえて、効果的な保育教材を作成する。	□
第12回	事後指導④（実習を踏まえての保育教材研究）	実習成果を踏まえて、効果的な保育教材の発表の仕方を考える。	□
第13回	事後指導⑤（保育教材研究の発表）	実習成果を踏まえて、保育教材を発表する。	□
第14回	事後指導⑥（記録の返却と面談）	実習記録と実習評価に基づき、面談を行う。	□
第15回	保育実習ⅠA総括	これからの課題について、小文を作成しつつ考える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前は、シラバスを確認し、テキストの該当箇所を熟読しておく（2時間程度）。授業後は、配布資料をフォルダーに整理しつつ、学習内容をノートにまとめておくこと（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業前にインターネット等で教科書の予習をし(2時間程度)、授業後に教科書、授業中に配布した資料を再度見直し、課題を作成する(2時間程度)。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育所の役割や機能を具体的に理解する。保育の計画・観察・記録および自己評価などについて具体的に理解する。既習の教科目の内容を踏まえ、保育について理解する。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	観察や子どもとのかかわりを通して、子どもへの理解を深める人間力を体得している。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」：実習の成果について、小文にて確認する。「その他」：各種提出物やその進捗状況、報告会(50)、教材研究(30)等を総合的に加味して評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	改訂版版幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド	978-4-907270-41-4
2	改訂版実習日誌・実習指導案　パーフェクトガイド	978-4-907270-43-8
3	保育所保育指針解説	978-4-577-81448-2
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業内で配布	
2		
3		
4		
5		